

編集顧問

生田 房弘	石塚 典生
糸山 泰人	内山真一郎
大友 英一	梶 龍児
金澤 一郎	高坂 新一
作田 学	島津 浩
杉田 秀夫	高倉 公朋
塚田 裕三	辻 省次
寺本 明	中里 洋一
中込 忠好	彦坂 興秀
平山 恵造	藤澤浩四郎
真柳 佳昭	水澤 英洋
水野 美邦	柳澤 信夫

編集委員

河村 満	(編集主幹)
神田 隆	桑原 聡
酒井 邦嘉	泰羅 雅登
三村 将	森 啓

編集同人

入来 篤史	岩田 淳
宇川 義一	内原 俊記
大隅 典子	岡部 繁男
木村 和美	久保 義弘
栗栖 薫	小林 靖
斉藤 延人	砂田 芳秀
高橋 良輔	瀧山 嘉久
武田 伸一	千葉 厚郎
平田 幸一	寶金 清博
星 英司	星野 幹雄
本田 学	松野 彰

(五十音順)

あとがき

ある疾患の発見者、あるいは疾患概念の確立者として自分の名前が病気に冠されることが、医学者、臨床医として大変名誉なことであろうと思います。私の手元に1998年に診断と治療社から刊行された『症候群事典』（『診断と治療』第86巻増刊号）なる分厚い本があります。他の臨床領域と比べて脳・神経・筋分野の症候群数は桁違いに多く、実に109もの人の名前を冠した症候群がリストアップされています。『神経学用語集』はどこを開いても、人名のついた徴候、症候群が書かれていない頁はありません。また、バビンスキー徴候の変法として何十種類もの徴候・反射が記載されており、脳幹の血管障害にはあらゆる部位に人の名前のついた症候群が存在します。

「こういった歴史的トリヴィアを楽しむのもまた、神経学の醍醐味の1つである」ということを私は必ずしも否定するものではありませんし、神経学を築いた諸先輩の臨床観察や剖検所見との照合から得られた歴史がこれらの用語に息づいていることも間違いありません。しかし、症候群や徴候名の丸覚えに伴う苦痛が、研修医、医学生、神経学忌避を招いている元凶の1つではないかとかねてから私は考えておりました。このような憎まれ口を私は自分が書いた教科書に記載し、脳幹症候群は極力載せない、病的反射はバビンスキーとチャドックだけ、という方針を貫いて、ある人からは全面的な賛同を、一部の先輩からは否定的なコメントをいただきました。読者の皆様はどのようにお考えになりますでしょうか。

今回の特集は中枢神経血管炎です。診断に苦慮する中枢神経疾患の横綱格である一方、治療反応性もかなり見込める故、神経学の臨床家として常にupdateした知識を要求される疾患群であると申せましょう。力が入った総説がずらりとならんでいますが、巻頭には血管炎の新しい分類法（CHCC2012）についての総説をいただきました。この分類法は着実に本邦の血管炎臨床に定着つつありますが、お気づきのようウエジェナー、チャージ・シュトラウス、グッドパスチャー、ヘノッホ・シェーンラインといった、私たちになじみの深い“人の名前のついた”症候群が、それぞれGPA、EGPA、抗GBM関連疾患、IgA血管炎という病態に関連した疾患名に変更されています。

かつての人名を冠した病名に何がしかのメリットがあるとすれば、例えば、“チャージ・シュトラウス”という言葉がインプットされた瞬間に喘息、好酸球増多、多発性単神経炎、急性軸索変性→ステロイド大量投与、といった一連のつながりが瞬時に頭に浮かぶことであろうと思いますし、旧病名に親しみを感じておられる先生方も多数おいでになるものと想像しますが、この思考回路がEGPAという単語で再構成されるのもそんなに遠い将来ではないでしょう。CHCC2012で高安動脈炎と川崎病が生き残ったのは日本人として大変喜ばしいことですが、業績の称揚ではなく病態を反映した病名にという流れは、医学の在り方として極めてまっとうなものであり、神経・筋疾患分野での人名を冠した病名・症候名が他の領域と同じ程度の数に収まるのは、神経疾患の治療学が循環器疾患や消化器疾患と肩を並べることができたときでしょうか。

(神田 隆)

BRAIN and NERVE (第67巻 第3号)

2015年3月1日(毎月1回1日発行)

定価:本体2,700円+税(送料実費)

2015年 年間購読料(送料弊社負担)

冊子版34,080円、冊子+電子版(個人)39,080円/(共有)44,240円、

電子版(個人)34,080円/(共有)39,240円

※2015年より年間購読料は本体価格表示となります。

印刷所 (株)アイワード (011)241-9341

広告申込 (株)ハイブリッジエージェンシー (03)3814-0089

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通(03)3817-5701 (小藤・風間・山崎)

販売部直通(03)3817-5659

FAX (03)3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

オンライン投稿 ID:brain パスワード:nerve

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2015, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- JCOPY** (株)出版者著作権管理機構委託出版物
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、その都度事前に(株)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- ※「BRAIN and NERVE」は株式会社医学書院の登録商標です。